# **助成事業完了報告書**

日本財団　会長　笹川　陽平　殿

報告日付：２０１８年４月９日

事業ID：２０１６３９１０７３

事業名：出張型労働災害リアル体験教育

団体名：(一社)日本造船協力事業者団体連合会

代表者名：会長　前田　和彦　印

TEL：０３－５５１０－３１６１

事業完了日：２０１８年３月３１日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業費総額 | 48,281,430円 |  |
| 自己負担額 | 9,656,430円 |  |
| 助成金額 | 38,625,000円 |  |
| 返還見込み額 | 1,375,000円 |  |

## **事業内容**

1. **労働災害リアル体験教育レギュラープログラム**
2. 開催期間：2017年6月15日～2017年12月5日（21回実施）
3. 内容：受講者のいる造船所の構内へ教育に必要な機材・設備を専用トラックで搬入し、教育を実施するもので、専門インストラクターが下記の労働災害リアル体験を指導する。今年度は計20ヶ所（延べ21回）

1,239名が受講した。

1. 火傷実験

* 下着（綿１００％と化学繊維１００％）の燃焼実験
* 溶接用床皮作業服を着装させての燃焼実験

1. 低圧電機感電体感

* 低圧電気で感電体感し、電気の特徴を知る

1. レバーブロック激突体感
   * レバーブロックを使用して肌合わせをする時、ピース・フックが外れ激突する体感
2. 高所危険体感

* 垂直梯子などを昇降する時、3点支持の重要性を体感
* 未固縛の足場板に乗り移り天秤状態を体感
* 脚立使用時、バランスを崩し転落する体感

1. 爆発実験

* 切断・加熱作業時、着火不良、失火による爆発実験

1. 飛散実験

* 塗装スプレーガンの取扱い不良による危険実験

1. 燃焼実験

* 塗装作業時における溶剤の燃焼実験

1. 酸欠・換気実験

* 炭酸ガスアーク溶接と酸欠に関わる危険実験

1. 保護具の体感・実験教育

* 防じんマスク、耳栓、保護帽、安全帯（胴ベルト型・フルハーネス型）、安全靴、革手袋、

保護めがね、遮光保護具、防塵マスク点検、保護帽・安全帯点検とアドバイス

※①～⑨の所要時間　　3.5時間

1. 対象会員名・実施場所・日付・受講者数
2. 川重事業協同組合　：　兵庫県神戸市中央区東川崎町3-1-1

6月15日(木)･16日(金)　受講者154名

1. 内海造船事業協同組合　：　広島県尾道市瀬戸田町沢226－6

6月28日(水)　受講者68名

1. 協同組合JMU呉協力会　：　広島県呉市昭和町2-1

7月18日(火)　受講者75名

1. トヨシップ事業協同組合　：　愛知県豊橋市明海町22

7月22日(土)　受講者57名

1. 秋田造船鉄工株式会社　：　秋田県男鹿市船川港船川字外ヶ沢125-14

8月3日(木)　受講者24名

1. 函館どつく安全衛生協力会　：　北海道函館市弁天町20-3

8月23日(水)　受講者63名

1. 協同組合三菱広島協力会　：　広島県広島市中区江波沖町5-1

8月31日(木)　受講者61名

1. ｼﾞｬﾊﾟﾝﾏﾘﾝﾕﾅｲﾃｯﾄﾞ（株）津事業所協力会　：　三重県津市雲出鋼管町1

9月6日(水)　受講者58名

1. ｼﾞｬﾊﾟﾝﾏﾘﾝﾕﾅｲﾃｯﾄﾞ横浜協力会鶴見支部　：　神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1

9月12日(火)　受講者67名

1. 三菱横製構内事業協力会　：　神奈川県横浜市中区錦町12

9月20日(水)　受講者32名

1. 因島鉄工業団地協同組合　：　広島県尾道市因島重井町474-1

9月27日(水)　受講者65名

1. ｼﾞｬﾊﾟﾝﾏﾘﾝﾕﾅｲﾃｯﾄﾞ舞鶴事業協同組合　：　京都府舞鶴市字余部下1180

10月11日(水)　受講者77名

1. ｼﾞｬﾊﾟﾝﾏﾘﾝﾕﾅｲﾃｯﾄﾞ横浜協力会磯子支部　：　神奈川県横浜市磯子区新杉田町12

10月17日(火)　受講者76名

1. 東北ドック鉄工株式会社　：　宮城県塩釜市北浜4-14-1

11月1日(水)　受講者29名

1. 石巻造船安全衛生協議会　：　宮城県石巻市西浜町1-2

11月2日(木)　受講者44名

1. 旭洋造船株式会社協力会　：　山口県下関市卸新町9-3

11月14日(火)　受講者49名

1. 臼杵造船事業協同組合　：　大分県臼杵市大字板知屋1-12

11月21日(火)　受講者76名

1. 下ノ江造船協力事業協同組合　：　大分県臼杵市大字下ノ江1200

11月22日(水)　受講者40名

1. 大造協力事業協同組合　：　長崎県西海市大島町1605-1

11月29日(水)　受講者81名

1. 長崎県金属工業協同組合　：　長崎県諫早市貝津町2148-2

12月5日(火)　受講者43名

1. **労働災害リアル体験教育インストラクター講習会**
2. 内容：日鉄住金ビジネスサービス鹿島株式会社及び各社保護具メーカーのインストラクターに対して、造船所の構内で教育を行うにあたり、造船業の安全管理を長年勤められた講師から、造船所構内の安全衛生遵守事項等について講義を受けた。
3. 造船所の安全管理体制
4. 造船所構内の安全衛生遵守事項
5. 造船業に関わる関係法令
6. メーカーインストラクター講習（注意点・心得）

※①～④の所要時間2.5時間

1. 実施場所・日付・受講者数
2. ナビオス横浜　：　神奈川県横浜市中区新港2-1-1

4月27日(木)　受講者29名

1. **労働災害リアル体験教育インストラクターミーティング**
2. 内容：4月7日(木)の開催では、外国人受講者向けの音声ガイダンス等のデモンストレーションを行い、実施に向けて最終調整を行った。2月9日(金)の開催では、2017年度の実績を踏まえ、反省、改善提案等のディスカッションを行った。
3. 実施場所・日付・参加者数
4. ナビオス横浜　：　神奈川県横浜市中区新港2-1-1

4月27日(木)　参加者12名

1. エスカル横浜　：　神奈川県横浜市中区山下町84

2月9日(金)　参加者10名

### **1.事業目標の達成状況**

**【申請時の目標】**

（１）全国の造船所敷地内で計２０回、総計１，６００人程度の作業員らに対して出張型労働災害リアル体験型労働災害リアル体験教育を実施する。

（２）会員所属事業所において実施会員受講率を調査し、教育効果高まる受講率３０％越えを目標として実施する。

（３）当教育を造船所構内で大量人数に対して実施することにより重大災害の撲滅を目指す。

（４）本事業は体感型教育のエキスパートである「日鉄住金ビジネスサービス鹿島」と安全保護具の主要メーカー各社から選抜されたトップレベルのインストラクターを登用し体感型教育最高のプログラムを目指す。

（５）造船業で増加している外国人就労者に対しても専用機材を使用して効果的なプログラムを提供する。

**【目標の達成状況】**

1. 当初の目標回数である２０回を上回る２１回達成したが、受講者人数については１，２３９名と目標人数の１，６００名に対する達成率は７７パーセントであった。これは造船現場の工程による影響もあったが、作業員が少ない中小造船事業所に積極的に実施した結果であり、より安全対策が必要な現場に対して当事業を実施することが出来た。

（２）今年度実施した会員に、２００９年から実施している｢出張型安全体感教育｣の受講者が現在、事業所内で働いている作業者の何割にあたるのか調査を行った結果、１８事業所の平均で２７％となった。

（３）本年度は５年計画事業の３年目であったが、３年間の合計受講者数は３，７１８名であった。今後も各開催時には、より多くの従業員が参加できるように、事前の連絡や案内を徹底していく。

（４）造船の現場では、時期によって、実際に発生する災害傾向も変遷している。このため当教育のプログラムについては、有識者、インストラクター、事務局が協力して造船現場の現在の状況を見極め、事業途中においても意見交換を頻繁に行い、設備の改良、教育方法の改善、プログラムを追加するなど効果の高い事業を実施することができた。

（５）本年度から実施した外国人就労者に対してのプログラムでは、教育の概要を写真付きで見せる、５ヵ国語（タイ、ベトナム、インドネシア、タガログ、中国）に対応したA1サイズの表示物と、上記５ヵ国語に翻訳し、音声で内容を伝える音声ガイダンスを活用し、計114名の外国人就労者に対してプログラムの提供を行った。

### **2.事業実施により得られた成果**

教育受講者の度数率及び強度率の成績。

**２０１６年実績**

**度数率　１．５６６**

**強度率　０．０５２**

一部事業所で災害が複数発生した結果、度数率は平均的なレベルとなったが、災害の重篤度を表す強度率は良好な状態を維持している。

※度数率とは、 100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。

※強度率とは、 1,000延実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。

### **3.成功したこととその要因**

本年も２０ヶ所の事業所の構内などで当教育を実施したが、当日になって開催自体が危ぶまれる場所や状況が発生した。そのような状況の中で、創意工夫や関係者の連携によって、予定した内容を全て事業所内で無事終えることができた。これは関係する元請造船所、当会会員、インストラクター、事務局による複数回にわたる事前ミーティングの成果によるものと考える。

### **4.失敗したこととその要因**

特になし。

## **事業成果物**

* カリキュラム
* 出張型労働災害リアル体験教育実施写真
* 出張型労働災害リアル体験教育インストラクター講習会実施写真
* 出張型労働災害リアル体験教育インストラクターミーティング実施写真
* 2016年度の成果
* ｢出張型安全体感教育｣受講者の事業所内在籍割合
* 外国人就労者国別受講者比率
* 外国人就労者向けプログラム提供風景
* 2017年度パンフレット**（別添）**作成部数：1,000部

※各回の内容は写真付きでＣＡＮＰＡＮブログ「安全ひろば」で公開済み

２．音声ガイダンスの活用

１．表示物の活用